

Light Metal Colors

～軽金属業界で活躍する多様な技術者/研究者～

成田 麻未さん

(所属・役職) 大学教員

(略歴) 2012年 名古屋工業大学工学部環境材料工学科卒業、

2014年 東京工業大学大学院理工学研究科

修士課程修了、2017年 同大学博士課程修了、工学博士、

2017年 (株) UACJ入社

(趣味・家族構成など) 楽器演奏 (ホルン) 夫・息子・犬

(思い出の一枚) 在外研究中に友人と数度訪れたWarnemündeの海岸



進路の決め手

すべてのものは材料から

文系と比べて好きな科目が多かったので理系を選択し、「すべてのものは材料から成る。その材料の研究って？」と興味が出たことをきっかけに、大学を選択しました。金属材料の研究がとても楽しかったので大学院・博士課程へ進学しました。学生時代の経験 (軽金属の研究 & 海外研究者との繋がり) を活かせる仕事がしたく進路を決めました。博士号取得は、様々なことに挑戦できる「資格」を取得できた感覚です。修士二年時より大学のプログラムに所属し、研究費などの資金援助を受けていました。

仕事・研究エピソード

アルミニウムの研究と海外留学

学生時代に選択したアルミニウムの研究、そしてノルウェーへの留学が、その後の私の人生の根幹となりました。当時出会った国内外の研究者とは現在も共同で研究が出来ており、国内外の学会に参加することで更に繋がりが広がり、益々研究が楽しくなっていました。卒業後には企業で製造プロセスに少しでも携われたことも、人生の糧となっています。学生時代に専門性を身に付け、分野を横断した横の繋がりを作っていくことが、研究者にとって非常に重要であると同時に楽しい点であると最近は思っています。

現在～仕事と生活

仕事・家庭のオンオフ

軽金属材料の時効析出挙動や加工・熱処理に伴う組織制御の他、接合技術に関する研究も行っています。息子が3歳頃までは9時～16時を基本とした時短勤務で、現在はフルで働いています。なるべく早くお迎えに行きたいので、早朝に仕事をして調整することもあります。仕事の時間は全力を尽くし、息子と一緒に居られる時間は全力で息子と向き合う、というのが私のスタイルです。

将来について

働き方はいろいろ・人生は自分で選択し、設計できる！

自分のやりたいこと・挑戦したいことが溢れる20代後半～30代は、仕事と子育ての狭間で葛藤の日々です。私は子育てに向いていないと自信を失うこともありますが、ありのままで良いと自信をつけてくれるのもまた息子の存在です。在外研究で二か月間日本を離れ、息子と離れて暮らした際は、お互いに成長を感じました。このロールモデル集を読むことで、「色々な働き方をされている方がいて、様々な制度もあり、それを自分で選択し人生を設計していくことができる」ということを、若い方には感じてほしいです。

学生の皆さんへのメッセージ

どんなことも楽しく、面白く！

自分が納得するまで繰り返し実験を行い、予想と違う結果が出てこそその発展があるので、粘り強く頑張ってください。どんなことにも楽しさや面白みを見出して取り組むことが、研究者人生を楽しくする秘訣だと思います。